

JA だより



—自然のめぐりと暮らしたくて—



第64回 しずない農業協同組合通常総会開催

第64回 しずない農業協同組合通常総会開催

全4議案原案通り可決される

4月10日、新ひだか町公民館において「第64回 しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。



冒頭挨拶において、片岡禹雄代表理事組合長より、「国内農業においては、戸別所得補償制度、第6次産業化の推進など、目まぐるしく農業政策が変わる中、昨年11月に野田首相は、TPP交渉参加への協議に入ることを表明いたしました。十分な国民的な議論もなされず、見切り発車されたことに憤りを感じるところであります。世界の人口が急激に

増加している中であって、生命の源である食料を他国に委ねることは言語道断と言わざるを得ません。

更に、医療・金融など様々な分野への影響が計り知れず、農業だけの問題ではなく、「この国のかたち」の行く先が憂慮される事態であります。経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心が損なわれることは断じて許されるものではありません。

今後TPP交渉参加を断固阻止するため、JA北海道グループの一員として強力な運動を続けて参ります。当JAにおける昨年度の農畜産物の取り扱いについては、16億3600万円の計画に対し、2億2200円増の18億5800万円となりました。

そ菜全般においては、震災、猛暑の影響により、品薄が続ぎ、高値取引となりました。特に、主力のミニトマトにおいては、過去最高の7億2300万円となりました。生産者の長年にわたる品質向上と安定供給への取り組みが実を結んだものと敬意を表すところであります。

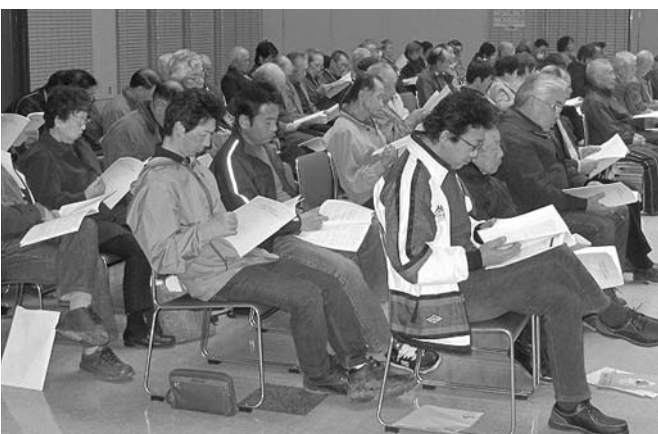
また、複合作目として奨励してきた黒毛和牛は、震災の影響から、販

売価格は一時下落いたしました。販売頭数の増加により、前年比7900万円増の4億1300万円となりました。市場での高い評価は、生産者の積極的な取り組みと関係機関のご協力の賜物と深く敬意を表すとともに、今後とも複合作目として黒毛和牛の推進に取り組んで参ります。

ホッカイドウ競馬は、昨年80日間の開催を終え、販売額は計画対比102.7%の115億7100万円となりました。競馬を取り巻く環境が極めて厳しい中、Aiba祭の開催など関係機関・団体の特段のご協力、ご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げる次第であります。日高の幹幹産業である軽種馬産業にとりましてホッカイドウ競馬の安定的な開催は不可欠であります。本年度のホッカイドウ競馬は4月25日より開催されます。昨年同様にご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

農業担い手対策については、行政と手を携え取り組んでおります新規就農対策事業により、本年度、ご夫婦1組と単身者1名を受け入れ、農家での研修を始めたところであり、農業担い手確保の第一歩として大きく期待を寄せているところでありますので、組合員皆様の温かいご支援を切にお願い申し上げます。

JA事業については、円高、デフレ経済による収益率の低下、投資意欲の減退による取扱高の減少などの影響を大きく受け、各事業とも部門収益の確保に苦戦いたしました。事業管理費をはじめとした経費抑制・節減により、未処分剰余金3056万円を提案することができました。組合員各位には、厳しい農業経営の中、JA事業をご利用、ご協力いただいた結果であり、感謝とお礼を申し上げます。



また、健全性を示す自己資本比率は、前年対比0.09%増加し、10.52%となりましたが、健全な

J A 経営のためには、更なる財務基盤の強化に取り組んで参らなければなりません。今後とも内部留保を優先し、自己資本造成に取り組んで参りますので、深いご理解をお願い申し上げます。



J A 合併協議については、地区別懇談会でも説明をさせていただいたところですが、23年度は主に経営基盤強化方策の検討をして参りました。しかし、J A 門別から検討協議への参加を休止したいとの申し出があり、当面は、にいかつぷ、じょうない、ひだか東において協議を続けることとなりました。本年度も継続して、J A 合併による経営基盤強化方策お

よび地域農業の振興方策等の研究検討を進めて参りますので、組合員各位には特段のご理解をお願い申し上げます。

23年度の事業報告並びに24年度の部門別事業の事業方針・事業計画等につきましては、本年度は、景気低迷に加え、急激な原油高、電力不足など先行き不透明な要素を数多く抱えております。このような環境の中、地域農業振興・J A 財務の健全化を図るため、より一層努力をして参る所存でありますので特段なるご理解、ご支援をお願いするところであります。」と挨拶がありました。

議長には、有田英二氏、見上久義氏が選任され、上程された4議案全てが原案通り可決となりました。

その後、泊寿幸管理金融部専門委員長より「T P P（環太平洋連携協定）など、貿易交渉に関する決議（案）」が朗読され、出席者全員で参加反対決議を致しました。



理事会報告

1月理事会（19日）

- 一、債務保証委託申込に伴う出資増口（外部出資）について
- 二、平成24年度基本方針と重点実施事項について
- 三、平成24年度借入金の最高限度について
- 四、平成24年度貸付金利率の最高限度について
- 五、平成24年度信用供与等の最高限度額について
- 六、平成24年度理事者に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の具体的包括承認について

1月理事会（31日）

- 一、長期資金の貸付について
- 二、平成23年度決算見込みについて
- 三、固定資産減損会計について
- 四、出資持分の譲渡について
- 五、資産査定基準（資産査定要領）（案）の見直しについて
- 六、本所スタンド配送センター地下貯蔵タンク流出防止対策及び改修工事について
- 七、債権の償却について

2月理事会（27日）

- 一、平成23年度事業報告及び未処分利

益剰余金の処分（案）について

- 二、繰延税金資産の回収可能性について
- 三、税効果積立金の取崩しについて
- 四、平成23年度の自己査定結果について
- 五、平成24年度事業計画（案）について
- 六、平成24年度固定資産の取得（案）について
- 七、平成24年度役員報酬について
- 八、平成24年度職員の定員及び職員給与の改正（案）について
- 九、平成24年度余裕金の預入先について
- 十、平成23年度内部監査結果報告及び平成24年度内部監査計画について
- 十一、平成24年度コンプライアンスプログラム計画について

3月理事会（23日）

- 一、平成23年度決算監査の実施結果について
- 二、(株)日高中部農協機械センターとの土地賃貸契約について
- 三、出資持分の譲渡について
- 四、外部出資の新規取得について
- 五、平成24年度団体管整備事業（農業体質強化基盤整備促進事業）について
- 六、第64回通常総会（決算関係書類及び部門別損益計算書）について
- 七、第64回通常総会招集通知について

牛を見る力を身に付ける

新ひだか町静内和牛生産改良組合青空教室行っ

3月30日、新ひだか町静内和牛生産改良組合（組合長 渡辺隆 組合員32名）では、青空教室を行いました。

教室には、素牛生産者23名をはじめ、農業関係機関から4名、JA職員5名の計32名が参加。

この日は、新ひだか町役場農林水産部酒井哲也部長が講師を務め、昨年末から現在までの高値で推移する素牛市場の動向とその原因について、尻・腿・膝・腹・背・胸・肩・顔という牛を見る際のポイント8点について細かく説明が行われました。加えて同氏は、新ひだか町和牛センターで肥育する素牛の買い付けを担当していることから、購買者目線からの良い牛、悪い牛という話も交えていました。

また今回の教室は、田原地区の渡辺隆組合長の農場と豊畑地区の原忠夫さんの農場の2箇所で行われており、ここでは、4月市場への出陳間際だった合計18頭の素牛を指導をもとに参加した生産者それぞれが評価する品評会も合わせて行われました。



実際に牛の前で酒井部長が説明しました。



出陳間際の素牛をそれぞれ品評しています。

市場評価向上のために

東日本大震災以来、肥育業者の購買意欲減退などにより、素牛市場は落ち込みを見せておりましたが、昨年末から回復をみせ、高値で安定しています。新ひだか町静内和牛生産改良組合では、その逆風を追い風に変えるため様々な活動、そして、成果を残しています。

組合員の努力実る

「分娩間隔値の部」2年連続北海道第1位獲得

（社）全国和牛登録協会が表彰を行う「分娩間隔実績値の部」で、新ひだか町静内和牛生産改良組合が、平成22年度に引き続き2年連続となる北海道第1位を受賞しました。

100頭以上の繁殖牛が登録されている全国447認定和牛改良組合を対象に調査が行われた平成23年度表彰では、全国の平均分娩間隔412.20日に対し、本改良組合では1210頭の繁殖牛で、385.45日を達成し、全国では第4位と惜しくも2年連続での全国第1位は逃したものの、冒頭の通り、道内では見事2年連続での第1位受賞となりました。

渡辺組合長は「繁殖牛の加齢に伴い、飼養管理が難しくなってくる中、2年連続で北海道1位を獲得出来たことは、組合員一人一人が日々の管理へ対する意識、技術が高い証拠だと思えます。これからは、この賞を3年連続で受賞できるよう努力していきたい。」と話していました。



2年連続の受賞おめでとうございます！

また、本改良組合では平成23年度販売金額が、過去最高となる4億1300万円を達成しました。これは、過去最高となった平成22年度の販売金額3億3400万円を更に7900万円も上回る結果となり、渡辺組合長からは「震災等の影響により、全国的に購買者の市場離れがあった中、このように販売金額を伸ばせたことは健闘したのではないかと考えています。」と話していました。

2年後の就農、独立を目指して

農業研修生の認証授与式行われる

3月26日、新ひだか町役場静内庁舎において、茨城県日立市出身の松山宏（まつやま ひろし）さん・裕美（ゆみ）さん夫妻、札幌市出身の佐藤誠宏（まこと）まさひろ）さんの3名に、新ひだか町農業担い手育成支援協議会から農業研修生としての認証が授与されました。

この研修生の受け入れは、町をはじめ、しずない・みついしの両JAなど各農業関係機関から組織される本協議会が、就農意欲のある人材を積極的に受け入れていこうと平成24年度より新たに始めた事業で、就農を目指す夫妻世帯が対象の「農業チャレンジャー支援対策事業」の松山さん夫妻は、現在、東別地区の有田春男さんのもとで農業研修生として研修を受けています。また、高齢化や担い手不足など地域農業が抱える課題を解決するためのヘルパー育成を目的とした「がんばるー農業サポート事業」の佐藤さんは、本沢地区の中道雅則さんのもとで研修を受け、それぞれ2年後の就農、独立を目指します。

認証授与後には、松山さん、佐藤さんから今後の研修に対する抱負などが宣誓され、本協議会の会長でもある酒井芳秀町長から激励の言葉を授けていました。



緊張した面持ちの3名です。
(左から松山裕美さん、宏さん、佐藤誠宏さん)



認証を授与され、皆さん意欲に燃えています！

昨年以上の成績を目指して

静内そ菜振興会ミニトマト部会講習会行つ

3月16日、日高生産連ビル3階第1会議室において、静内そ菜振興会ミニトマト部会（部会長 中道雅則 部会員37名）で、講習会を行いました。苗の定植も一段落したこの時期に行われた本講習会では、ブランドミニトマト「太陽の瞳」生産者15名をはじめ、各農業関係機関4名、当JA職員5名の計24名が参加。

この日は、「静内のミニトマト栽培」「ミニトマトの経営診断」という2つのテーマで講習が行われ、日高農業改良普及センターの橋本和幸専門普及指導員と当JA営農部生産課の西岡敬司課長補佐が資料に沿ってそれぞれ講習を行いました。

昨年、同部会では過去最高となる7億2000万円の販売金額を達成しており、今年も昨年以上の販売金額を目指し、そして、「太陽の瞳」の更なる品質向上へ向けて、参加した生産者たちも熱心に講習に耳を傾けていました。



昨年以上の成績を目指し、熱心に耳を傾けています。



聞くだけでなく、視覚でも知識を吸収します。

平成24年度 産業振興奨励事業について

1. 高品質米生産安定対策事業

対象作物…水稻

事業内容…当地区では、軽種馬経営等の副産物である良質な堆肥、加えて、有機肥料及び土壌改良材等を併用した土づくりを基本とする環境に優しい農業を励行し、消費者に「安全・安心」な農産物の提供、更に良質な農産物の生産及び販売によるブランド化を促進し、農業所得の安定を図ることを目的とする。

対象資材…有機肥料(有機885・有機150・有機260)及び土壌改良材(ケイカル・ケイカリン)

事業費…8,555,000円

補助額…2,421,000円(JA助成28.3%)

2. 施設野菜等長期生産体制整備事業

対象作物…ミニトマト、トマト、きゅうり、ピーマン、ほうれん草、イチゴ、メロン、花卉

事業内容…当地区では、軽種馬生産を中心に弱体化が進行していることから施設野菜への経営転換を推進しているが、一昨年からの原油価格高騰により、農家経営は厳しい状況におかれている。このため、コスト削減に向けた農業施設の整備を行い、産地形成の充実と農業所得の安定を図ることを目的とする。

対象資材…ハウス施設及びハウス附属設備

(ハウス100坪、二重カーテン、遮光ネット、ボルナドファン、ボイラー10万kcal・ボイラー3万kcal)

事業費…11,101,000円

補助額…1,850,000円(JA助成16.7%)

3. 自給粗飼料生産基盤強化対策事業

対象作物…牧草

事業内容…当地区は、畜産経営の割合が高く、現在、粗飼料の確保が不安定な状況にある。そのため、自給牧草の確保及び収量増加は、極めて重要な課題であり、当事業は、土壌診断に基づいた草地更新の励行、適正な除草剤散布による地力増進を図り、良質な粗飼料確保及び農業所得の安定を図ることを目的とする。

対象資材…土壌改良材(炭カル・ヨーリン)、除草剤(ラウンドアップ乳剤・アージラン乳剤・ハーミニー水和剤)

事業費…5,949,400円

補助額…1,386,200円(JA助成23.3%)

4. 黒毛和牛生産基盤確立対策事業(事業年度:平成23年度~平成24年度)

対象作目及び補助内容

(1) 繁殖素牛…①平成23年1月31日現在、12ヶ月齢以上の繁殖牛30頭未満の飼養農家を対象とする。

②一戸当たり、単年度対象頭数は5頭以内とし、飼養繁殖頭数が30頭に達する場合は、その範囲内とする。

③1頭当たりの補助対象限度額は400千円以内とし、補助額は1頭当たり120千円以内とする。

(2) 自家保留牛…①平成23年1月31日現在、12ヶ月齢以上の繁殖牛30頭未満の飼養農家を対象とする。

②飼養する繁殖牛の産子で、別に定める審査会で承認を受けた雌牛とする。

③一戸当たり、単年度対象頭数は5頭以内とする。

④補助金額は、1頭当たり100千円とする。

事業内容…軽種馬経営からの複合転換等の新規参入者の繁殖牛の導入及び自家保留に係る経費節減を図り、飼養頭数の確保を行い、農業収入及び農家経営の安定化を図ることを目的とする。

事業費…15,500,000円

補助額…3,550,000円

5. 施設園芸作物生産向上対策事業

対象作物…施設園芸作物

事業内容…当地区で行われている施設園芸作物は、雨よけハウスでの長期栽培が一般的なため、近年では地力減退が顕著となり、収量についても減少傾向となりつつある。そのため当事業では、品質の向上及び収量増加を目標に有機物投入による地力回復・増進を促し、農業所得の安定を図ることを目的とする。

対象資材…有機堆肥(バーク堆肥ヒダカノキセキ)

事業費…1,896,000円

補助額…441,700円(JA助成23.3%)

融資課から のお知らせ

JAフルスペックローンは 比較的小口の設備投資に対応する資金で農業経営をご支援します！

- 農機具の購入、修理・点検費用に
- ビニールハウスの資材・設置費用に
- 農機具格納庫の建設費用などに

1. JAフルスペックローン商品概要

●ご利用頂ける方

- ①農業を営む個人・法人（当JAの正組合員に限ります。）
- ②農業を営む個人・法人（当JAの正組合員に限ります。）が出資もしくは構成している団体または法人

●ご融資金額…事業費の範囲内とします。

●ご融資の利率…当JAの定める利率とします。

●ご返済期間…1年以上10年以内とします。なお、後継者が就農している場合を除き、最終償還日の年齢が満72歳を超えることはできません。

●保証人…原則、北海道農業信用基金協会の保証（保証料はお客様負担となります）をご利用頂きます。なお、法人経営（団体を含む）の場合は、構成員（株主または出資者）の個人連帯保証が必要となります。

2. ご融資までの流れ

必要な書類をご用意→お申込み→JAで審査→貸付の決定→ご融資に係る関係書類の作成→ご融資
※審査の結果、ご希望に添いかねる場合もございますので、予めご了承願います。

問い合わせ先 JAしずない経営融資部営農融資課(担当：鈴木) TEL 42-1051

農業後継者の出会いを応援します！

既にご案内させて頂いている方もいらっしゃいますが、今年度より、新ひだか町農業振興対策協議会では、以下の2つの農業後継者対策を実施致します。なお、両メニューとも事前の登録が必要となっておりますので、参加ご希望の方で登録がお済みでない方は、当JA営農部営農課(TEL 42-1051)までお問い合わせ下さい。

農業体験について

- 農業に興味のある方を全国から募集し、一緒に農業体験や農家生活を通じ、農業への理解と農業後継者パートナー確保の推進を図ろうというものです。
- 体験される方には、実際にあなたの家で寝泊まりをして頂き、ご家族と一緒にの生活を送ってまいります。
- 期間は原則7日間以内で、受け入れられる時期や日数などについては、ご登録の際に一緒にお申込頂きます。
- 農業体験を受け入れる場合は、体験者の方を歓迎して頂きます。また、体験中の食事代や送迎にかかった燃料代などについては、協議会が定めた基準でその一定額をお支払い致します。

農村交流ツアーについて

- 今年度は2泊3日のツアーを企画しており、農業や農村交流に興味のある方を全国から募集し、バスで新ひだか町内外の観光スポットなどを巡りながら、地元食材を使ったカレーコンテストや2日目の夜はバーベキューパーティーなどを企画しております。
- ツアー参加後、引き続き、上記農業体験を受け入れた場合に提供された食事代や送迎にかかった燃料代などについては、同様に協議会が定めた基準でその一定額をお支払い致します。

問い合わせ先 JAしずない営農部営農課 TEL 42-1051 FAX 42-7034

今年もホッカイドウ競馬に皆様の応援を!

4月25日より今年度のホッカイドウ競馬が開幕しております。

昨年は、販売金額が計画対比で102.7%の黒字収支を達成しております。

しかし、ホッカイドウ競馬の置かれている状況が厳しいことには変わりはなく、今年も皆様の沢山の応援をお願い致します。

平成24年度 ホッカイドウ競馬 開催日程

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
5月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
6月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
7月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
8月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

開催日程表には、各月の競馬開催日（★）と、主要な競馬イベント（例：イノセントカップ、ステイヤーズカップ、フローラルカップ）が記載されています。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
9月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
10月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
11月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

9月、10月、11月の開催日程表。各月の競馬開催日（★）と、主要な競馬イベント（例：サンライズカップ、サンライズプリンツ）が記載されています。

- Aiba祭開催日
5月30日(木)・6月28日(木)・7月26日(木)
8月30日(木)・9月27日(木)・10月25日(木)
※今年度におきましては、11月は開催致しません。

新入職員紹介

今年度当JAに新たに4名の新入職員が入組致しましたので、ご紹介させていただきます。

氏名 藤本 悠介
抱負 組合員の皆様から頼られるJAMANになれるよう一生懸命努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

氏名 秋元 美沙希
抱負 社会人一年目で、わからないことばかりですが、出来る限りのことをしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

氏名 久井 孝文
抱負 早く仕事を覚えて、一日でも早く戦力になれるよう努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

氏名 小林 安祐美
抱負 配置された部署でも今以上に頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

